



S.Naka

サマースプリントシリーズ

THE TV NISHINIPPON CORP.SHO
KITAKYUSHU KINEN

第60回 テレビ西日本賞 北九州記念 (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円
付加賞 637,000円 182,000円 91,000円



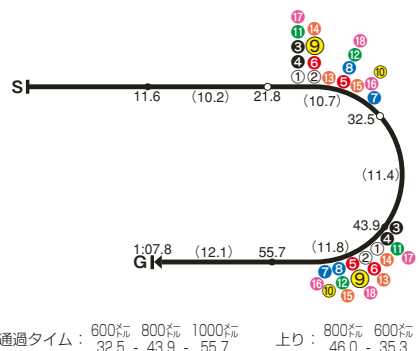
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、2024.6.29以降2025.6.29まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2025.7.6 小倉 晴・良 芝1200m (国産) (特指)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位 (600m)	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑨	ヤマニンアルリフラ	牡 4	55	団野大成	1:07.8	10-7	34.7	496(+14)	5.7①	斉藤崇史(栗東)	107
2	⑩	ヨシノイースター	牡 7	58	内田博幸	1/2	5-7	35.1	488(+2)	9.7⑨	中尾秀正(栗東)	111
3	⑪	アブキールベイ	牡 3	53	坂井瑠星	クビ	10-13	34.7	408(-12)	14.3⑦	坂口智康(栗東)	106
4	①	ヤマニンアンフィル	牝 6	53	亀田温心	クビ	14-13	34.8	484(-6)	19.1⑩	斉藤崇史(栗東)	99
5	⑦	キタノエクスプレス	牡 7	57	国分優作	クビ	14-15	34.8	504(-6)	7.4③	坂口智康(栗東)	
6	⑩	ドロップオブライイト	牝 6	56	小沢大仁	1 1/4	14-15	34.8	436(-2)	19.1⑩	福永祐一(栗東)	
7	④	ミルトクレイモア	牡 5	54	松山弘平	クビ	14-15	34.9	520(±0)	21.9⑩	中村直也(栗東)	
8	⑫	スリーアイランド	牝 5	52	田口貴太	クビ	5-4	35.5	490(+2)	48.9⑩	中竹和也(栗東)	
9	⑨	ロードフォアエース	牡 4	56.5	川田将雅	クビ	4-4	35.7	552(+8)	5.8②	友道康夫(栗東)	
10	③	レッドヒルシユーズ	牝 5	53	高倉 稜	3/4	14-18	35.1	460(+8)	25.9⑩	武 英智(栗東)	
11	②	カリボール	牡 9	56	西塚光二	1/2	10-10	35.5	506(+6)	70.6⑩	西村真幸(栗東)	
12	⑧	エイシンワンド	牡 3	54	吉村誠之助	1/2	5-4	35.9	482(-4)	24.8⑩	大久保龍志(栗東)	
13	⑥	メイショウソラフネ	牡 6	57	酒井 学	ハナ	10-10	35.6	454(+2)	8.6④	石橋 守(栗東)	
14	⑩	タマモブラックタイ	牡 5	55	角田大和	1 3/4	2-2	36.4	516(-2)	30.2⑩	角田晃一(栗東)	
15	⑤	モズメイメイ	牝 5	56.5	高杉史朗	3/4	5-7	36.4	472(-2)	19.7⑩	前川恭子(栗東)	
16	⑪	シロン	牝 6	53	国分恭介	1 1/2	2-1	36.8	526(+0)	84.4⑩	小栗 実(栗東)	
17	⑦	クラスベディア	牡 3	54	小崎峻也	1/2	1-2	37.0	500(+4)	11.1⑥	河嶋宏樹(栗東)	
18	⑬	オタルエバー	牡 6	57.5	幸 英明	大差	9-10	39.6	500(+10)	29.2⑩	中竹和也(栗東)	

単勝⑤670円(1 1/4) 複勝②270円(3 1/4) ⑩290円(4 1/4) ④490円(7 1/4) 枠連⑤-⑧1,310円(4 1/4)
馬連⑨-⑩3,600円(12 1/4) ワイド⑨-⑩1,490円(12 1/4) ⑨-⑩1,680円(15 1/4) ④-⑩2,750円(33 1/4)
馬単⑨-⑩8,630円(14 1/4) 3連複⑨-⑩16,080円(37 1/4) 3連単⑨-⑩67,370円(142 1/4)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
32.5 - 43.9 - 55.7 46.0 - 35.3

アラカルト

- ・団野大成騎手はジャスパークローネで制した23年に続く北九州記念2勝目。JRA重賞は本年初勝利、通算11勝目
- ・斉藤崇史調教師は北九州記念初勝利。JRA重賞は本年3勝目、通算25勝目
- ・イスラボニータ産駒はJRA重賞通算7勝目
- ・4歳馬の勝利は23年ジャスパークローネに続く通算20回目
- ・ハンデ55kgでの勝利は19年ダイメイプリンセスに続く通算9回目(別定戦だった72年~94年、00年~05年を除く)
- ・オタルエバーは競走中に疾病(鼻出血)を発症
- ・非抽選馬 3頭(アスクワタイム、ショウナンハーク、バースクライ)

ヤマニンアルリフラ *Yamanin al Ribla*

牡 芦毛 2021.5.27生
北海道新冠町 錦岡牧場生産
馬主・土井肇氏 栗東・斉藤崇史厩舎
馬名意味・冠名+旅(アラビア語)

ワンオブアクラインUSA系 F10-d

イスラボニータ 黒鹿毛 2011	フジキセキ 青鹿毛 1992	サンデーサイレンスUSA ミルレーサーUSA
	イスラコージンUSA 鹿毛 2002	Cozzene Isla Mujeres
ヤマニンバビオネ 芦毛 2008	スウェプトオーヴァーボードUSA 芦毛 1997	End Sweep Sheer Ice
	ヤマニンメルティ 黒鹿毛 1996	ジェイドロバリーUSA ワンオブアクラインUSA

5代までのインブリード：Mr.Prospector M4×S5×M5

INTERVIEW

村山大河氏(錦岡牧場)

他の馬とは違って見えました

小倉競馬場で観戦できたうえに、アルリフラだけでなく半姉アンフィルとも一緒に口取り写真に収まったことは特別な思い出になりました。本馬を初めて見たのは生後1、2カ月頃ですが、走りそうな馬だなとピピッと感じたぐらい他の馬とは違っていました。ウルスを含め、このきょうだいは皆、人懐こくてとても賢いです。これは母バビオネから受け継いだものですね。

S. Okada



夏は快足走の座へ駆け上がるか。

水準以上に速いラップを刻んで飛ばしたものの、スプリント戦には珍しく凝縮した隊列でレースは進む。オープン昇級後3戦連続2着と、惜敗を重ねてきた2番人気馬ロードフォアエースは好位の一角につけ、ヤマニンアルリフラの団野大成騎手は中団を追走。3番人気に支持された北九州短距離Sの勝ち馬キタノエクスペレスは、その2馬身ほど後ろで末脚勝負に構えた。

行き切るまでに脚を使ったクラスペディアは早々に力尽き、これを呑み込んだ好位勢のなかから、直線半ばではロードフォアエースが抜け出しをはかる。しかし4コーナーから進出にかかり、エンジンに火がついたヤマニンアルリフラは一枚上の決め手を発揮。ロードフォアエースをかわして先頭に躍り出ると、ヨシノイスター以下の追撃も抑えてゴールに飛び込んだ。

無傷の5連勝を飾ってプロキオンSを制したヤマニンウルス、同じ北九州記念にも出走(4着していたヤマニンアンフィルの半弟にあたる本馬は昨年1月にデビュー。未勝利戦が編成されている期間には勝ち上がれなかったものの、暮れの2勝クラス特別で初勝利を挙げた。4歳を迎えた今年、始動戦は3着に敗れたが、続く2勝クラス特別から3連勝を飾って重賞ウイナーの仲間入り。次走はCBC賞へ進む予定で、覚醒した良血馬がこのまま一気に

父イスラボニータ

北海道浦河町(有社台コーポレーション白老ファーム生産 中央25戦8勝(皐月賞^{G1}、阪神C^{GII}、マイルズC^{GII}、セントライト記念^{GII}、共同通信杯^{GIII}、東京スポーツ杯2歳S^{GIII}、日本ダービー^{G1}2着)、最優秀3歳牡馬、18年から供用〔代表産駒〕ヤマニンサルバム(新潟大賞典^{GIII}、中日新聞杯^{GIII})、トゥードジボン(関屋記念^{GIII})、ヤマニンアルリフラ(本馬)、ニシノエージェント(京成杯^{GIII})、フルバレイ(ファルコンS^{GIII})、コスタボニータ(福島牝馬S^{GIII})、バトルクライ(オアシスS・L、すばるS・L、根岸S^{GIII}3着、ユニコーンS^{GIII}3着)、シャドウフューリー(リゲルS・L)、オメガリッチマン(京成杯^{GIII}2着)、ビヨンドザヴァレー(ターコイズS^{GIII}2着)

母ヤマニンバビオネ

北海道新冠町 錦岡牧場生産 中央24戦4勝(米沢特別2回)

(15 牝父ブラックタイド)

ヤマニンブルーベル(16 牝父ダイワメジャー)中央10戦2勝

ヤマニンブルニエ(17 牝父ゴールドシップ)中央5戦0勝、地方54戦2勝

ヤマニンサンバ(18 牝父ディーブインパクト)中央23戦3勝(飛鳥S、カシオペアS・L3着、アンドロメダS・L3着、ケフェウスS^{Op}3着)、バーレーン1戦0勝 ④

ヤマニンアンフィル(19 牝父ダイワメジャー)中央26戦4勝(佐世保S、知多特別) ④

ヤマニンウルス(20 牝父ジャスタウェイ)中央9戦6勝(東海S^{GIII}、プロキオンS^{GIII}、雅S、コーラルS・L3着)、地方1戦0勝 ④

ヤマニンアルリフラ 本馬(21 牝父イスラボニータ)中央13戦4勝(北九州記念^{GIII}、淀S、伊良湖特別、ジングルベル賞)獲得総賞金103,995,000円(22 不受胎)

ヤマニンソロイスト(23 牝父サトノダイヤモンド)

(24 牝父エビファネシア)

(25 牝父バンサラッサ)

祖母ヤマニンメルティ

北海道新冠町 錦岡牧場生産 中央2勝、地方0勝。12年用途変更

ヤマニンビトレスク(07 牝父タニノギムレット)中央0勝、地方19勝

ヤマニンバビオネ(08 前出)

曾祖母ワンオブアクラインUSA

北米2勝(オークリーフS^{G1}、ハリウッドスターレットS^{G1}3着)、92年輸入、08年用途変更、ヤマニンサルバム(前出)の曾祖母

覚醒した良血馬が重賞初制覇

芝1200mのハンデ戦に生まれ変わった2006年以降、1番人気馬の勝利は08年のスリプレスナイトを最後に途絶えていた北九州記念。しかし今年は長い「連敗記録」に終止符が打たれた。例年以上の混戦ムードに包まれたなか、5・7倍という単勝オッズで1番人気に推されたヤマニンアルリフラが、昨年の2着馬ヨシノイスター1、葵Sの覇者アブキールベを2、3着に促して快勝。異色の経歴を持つ芦毛馬が良血を開花させ、重賞初制覇を果たした。

葵Sで2着に逃げ粘った3歳馬クラスペディアが手綱を押して押して飛び出し、3コーナー手前で先手を奪取。